

公金管理実績及び今後の方針について

■令和6年度の公金管理の実績及び、昨今の金利上昇等を踏まえた令和7年度の対応方針について、以下のとおり公表します。

1 資金調達

(1) 調達の基本方針

- ・調達先の多様化により安定的な資金調達に努めるとともに、金利動向等を勘案しながら引き合いの積極的な実施などに取り組み、将来の利子負担の削減を図る。

(2) 令和6年度の実績

- ①新規発行額の抑制
歳入確保や節約で確保した財源により交付税措置のない県債70億円の発行を抑制
- ②引き合いの積極実施
複数の金融機関からの借入金利の見積合わせの積極的な実施により、利払い額を削減
・R6年度引き合い額：351億円
- ③平均残存年数を考慮した金利設定
相対交渉による発行について、定時償還による平均残存年数を考慮した市場金利を設定

将来の利子削減効果額
②+③計：14億円

(3) 令和7年度の取組（金利上昇への対応）

- ①新規発行額の抑制
引き続き、交付税措置のない県債の発行を抑制
- ②金融市場の情勢等を踏まえた対応
・発行時期の前倒し及び発行月の分散化
・将来の利子削減と市場の不確実性への備えの両面から、有利な借入年限の組み合わせの検討（5年債の発行シェア拡充等）
- ③引き合いの積極実施・グリーン共同債への参画（継続）

2 資金運用

(1) 運用の基本方針

- 基金：「ラダー運用※」（期間20年）により金利変動に対応しつつ、安定的な収益確保を図る。
※償還期限の異なる債券を、各期間にほぼ同額ずつ組込む運用方式
歳計現金等：収支計画を日々修正し、残高不足を避けて短期間であっても積極的に運用を行う。

(2) 令和6年度の実績

- 基金：金利上昇及び効率的な運用により、運用収入と運用利回りは増加した。（償還差益分を除く）
歳計現金等：期中平均残高は増加となり、運用収入と運用利回りは増加した。

《令和6年度実績》

資金名	期中平均残高(千円)	運用収入(千円)※	運用利回り※
基金	135,064,136	451,471	0.334%
歳計現金等	38,928,442	27,809	0.071%
合計	173,992,578	479,280	0.275%

運用収入(千円)	運用利回り
451,471	0.334%
27,809	0.071%
479,280	0.275%

※基金：償還差益0円

《参考：令和5年度実績》

資金名	期中平均残高(千円)	運用収入(千円)※	運用利回り※
基金	131,013,703	465,689	0.355%
歳計現金等	33,652,143	942	0.003%
合計	164,665,846	466,631	0.283%

運用収入(千円)	運用利回り
340,904	0.260%
942	0.003%
341,846	0.208%

※基金：償還差益(124,785千円)除く

(3) 令和7年度の取組（金利上昇への対応）

- これまでの取組を継続し金利上昇による運用収入の着実な増加を図る。
- ・基金：ラダー運用を継続し、償還元本を使った毎年の債券購入により、段階的な運用利回りの向上を図る。短い年限の債券を選択し、金利動向に応じた債券運用に努める。
 - ・歳計現金：収支計画の修正等により金利上昇による運用収入増加を図る。